

霧降高原簡易水道完成

今後の開発に大きな成果

○霧降高原開発協議会では、霧降高原の道路、電気、水道など公共事業の施設整備を進めているが、このほど、霧降から丸美一帯を給水区域とする水道事業を完成させた。
〇これにより、いままで水に悩んでいた同高原の開発も、大きく前進したといえる。

水源は折紙つき

この工事が着工されたのは、昨年7月で、水源は、飲料水に最も適していると保健所でも折紙つきの、霧降高原玉簾(たまたれ)滝の源流である湧水を利用

している。

事業の途中、下流の今市農民との補償問題など困難な問題も無事解決して、37年中に配水池築造工事(工費二百九十四万円)のほか、送水管布設

(延長二千メートル、工費三百四十八万六千円)、取水

えん提築造工事(工費二百八万円)など、総経費約千六百三十万円を投入した、知事の認可も下りる

本年に入っては、展望台を経て丸美橋に至る送水管五千六百メートルを工費千五百四十万円で布設。二か年にわたる工事が7月27日、無事完成。申請中であつた知事の認可もこのほど下り正式に「霧降高原簡易水道」として、近年増設されてきた、都内林間学校などの各施設に利用されることになった。



11月21日は投票日
★衆議院議員選挙
★最高裁判所
裁判官国民審査
清い一票で主権者としての
努力を果たしましょう

観光道路としても一級 山王治山林道完成

【写真】山王治山道路の完成祝賀式



県林務部が35年から総工費二億四千万円を投じて建設中だった山王治山林道がこのほど完成、10月18日旧西沢金山を見おろす同林道のほぼ中間地点で、森田林野庁指導部長、佐々木市長ら関係者二百余人が列席して、記念碑の除幕など、その祝賀式が盛大に行なわれた。

光徳を起点として、山王峠を越え栗山村川俣温泉に至る延二十一キロメートルの山王林道は、35年の川俣ダム建設による鬼怒川上流の治山工事資材運搬道路として着工されたもので、このうち川俣温泉寄りの国有林内五キロメートルは前橋営林局が、民有林内の十六キロメートルは県が実施した。

前橋営林局担当の延長五キロメ

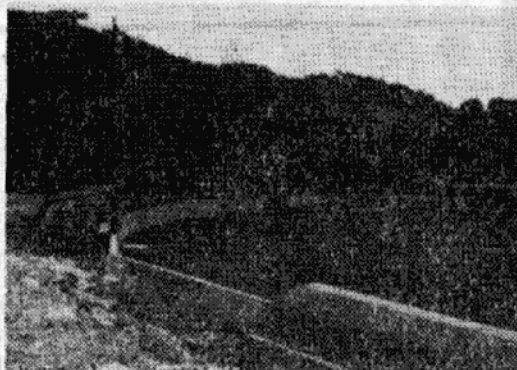
35年から五年計画で進めてきた中宮祠下水道工事のうち、大平に築造された終末処理場の本工事が、9月10日、工費約二千万円で着工された。

中宮祠下水終末処理場

本工事着工

池、塩素滅菌池、電気設備などの工事を行なうもので、この工事が完了すると、中宮祠下水処理の運転が可能となり、残る最終沈澱池と散水ろ床の築造工事が完了すればこの事業計画も完成することになる

【写真】所野公園野球場



所野公園

野球場完成

都市計画公園事業の一つとして昭和35年度から着手していた所野公園野球場は、本年度工事のバックネット、フェンス、ダッグアウトができ上り、初の公式球場が完成した。

なお、39年度には、バックスクリーン、スコアボード、ポールおよび危険防止の金網などが取付けられ、さらにフェンスの塗装も行なう予定がある。